

NOV  
30



これまで、国際試験解析評価ベンチマーク、国際プロジェクト事務局、国際プロジェクト政策リードに参加してきた講師が参加者とともに、プロジェクトへの参画、推進、改善、成果について議論を行う機会です。なお、参加検討型のイベントです。

講師：

GenIV フォーラムポリシーディレクター (JAEA)  
川崎信史 (Nobuchika KAWASAKI)

<https://www.gen-4.org/>

[kawasaki.nobuchika@jaea.go.jp](mailto:kawasaki.nobuchika@jaea.go.jp)

第2回 原子力人材育成ネットワーク・国内人材の国際化分科会主催 Webinar

国際プロジェクトの有効活用方法：

0. 参加者自己紹介（参加の動機）

1. 何を期待して、なぜ参加しているのか  
（プロジェクトへの参画方法）

2. 仕事をする上で一番重要なことは？  
（プロジェクトの定義、推進。信頼を得る）

3. 自分を鍛えるために何をしたらよいか？  
（自分を向上させるとともに、プロジェクトをよりよくする）

4. 何が成果か？（プロジェクトでできること、プロジェクトを無事終わらせる）

## 国際プロジェクトの有効活用方法：

### 1. 参画

（自由競争なのか？相手はなぜそのポストを募集しているのか？  
誤解しがちなこと）

+ノミネーション（なぜ推薦されるのか）

+面接（将来のパートナーとのお見合い）

+英語はどこまで話せる必要があるのか（話す目的は？）

+自分の価値は？

### 2. 推進（参加した後は、何をしたらよいのか？どうやって？）

+最初にやること

慣れる、観察する、そこで誰が何をしているのか？

+すぐに分かること

答えも方法も決まっていない

国によって特徴はあるが結局おなじ

+やったほうがよいこと

どうやったらうまく進む？

進むとはどういう意味？

+人に任せても成果が出る条件？

### 3. 改善（自分？相手？プロジェクト？）

+自分ができること、方法は何か？

+得意技は？ 苦手なこと？

### 4. 成果、できること

美術史、文学史、音楽史など歴史を知っておくことは往々にして役に立つ、  
結局はモダンとポストモダンの繰り返し。

期待はずれの言葉を言う時に（甲本ヒロト）から

重いまぶた擦る夜に（YOASOBI）まで